



スノーシューとは・・・検索するとスノーシューを使って歩くことを「スノーシューイング」と言う。ラッセルを苦勞せず、坂道に強く、技術を必要としないので誰でもすぐ使えると書かれていた。

今冬は年末の「伊吹山」から始まり、鎌倉山・愛宕山・明神平と日帰りの雪山を多く歩いた。



左：わかん 右：スノーシュー ちんどん屋？

今回スノーシューを一度体験したくて雪の「蛇谷ヶ峰」例会に参加。当日は滋賀県に入るとパラパラと舞っていた雪が北へ北へと向かうにつれ激しくなる。積雪も多くなり朽木村では除雪車も活躍。某施設駐車場に車を止め準備中にも瞬間に全身真っ白になる。ザックの上にスノーシューバッグを背負うという奇妙な恰好で出発。車道のセンターや橋の端に凍結防止用の水が噴水のように撒かれていた。てんくう温泉の方に登る。早くからスキー客も来て子供達は雪を楽しんでいた。積雪が多くなったところでスノーシューを装着、練習もなく本番となる。幅広のゴム紐の穴に金具を引っ掛けるのがスムーズにいかずイライラ。なんとか3本の紐を固定し、かかとも同じく固定。途中で外れないかと不安だった。わかん

より大きいので雪を押し範囲が広く又体重をかけてもさほど沈まない。わかんより足を上げなくても前に進み楽。慣れてくると楽しくて童心にかえり小走りになった。

下山者とすれ違うがほとんどはスノーシューだ。急登は滑って歩きにくいかと思っていたが前に体重をかけふんばると滑らなかった。頂上までの時間が読めず途中で断念しUターン。スキーの心得のない私は下山の急斜面で尻餅をつく。前に転倒すると自力では起き上がれず人の手を借りる。斜面が少し緩やかになると足運びがスムーズになった。大いに楽しんだ初体験でした。植西さんは早くて歩き方が力強い（別格化け物）の声あり。雪は1日中深々と降り続いていた。

毎年雪山を計画して下さる山口さんに感謝！



吹雪の中さっそうと歩く。ほんとうに後期高齢者がいるの？